

支部 NEWS

支部ニュース NO.75 2017.01

公益社団法人 日本建築積算協会 関西支部



TDS Application Series

出荷本数 9000 本以上の実績！明細書作成の超決定版！

TDS [見積]

お客様のご要望にお応えした、超簡単仕上拾いソフト！

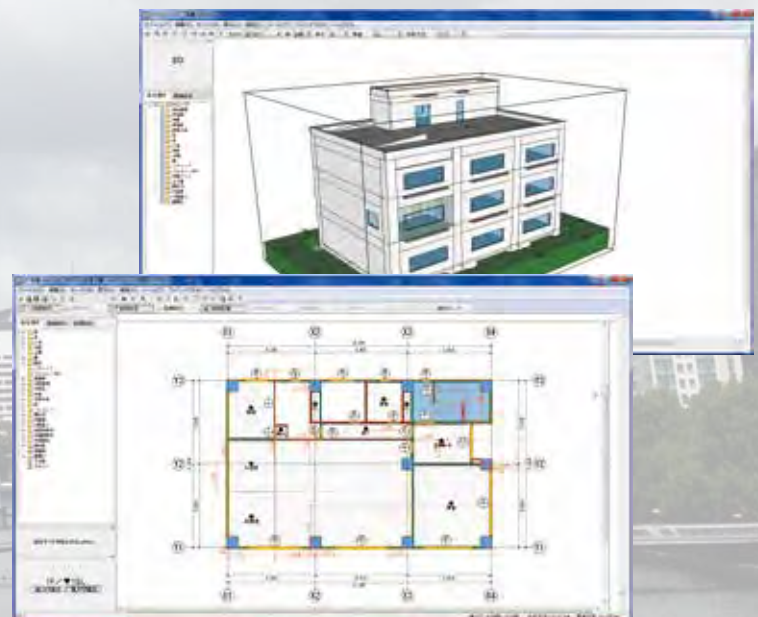
TDS [仕上]

面積計算必要なし！図面計測の効率化！

TDS [イメージ計測]

どんな建物にも対応！

NCS/HELIOS



※NCS/HELIOS は㈱日積サーベイ社の商品です。



TOMOデータサービス株式会社

URL: <http://www.tomodata.co.jp> E-Mail: info@tomodata.co.jp

大阪本社：〒531-0041 大阪市北区天神橋 7 丁目 5-23 渋谷ビル TEL(06)6351-8452 FAX(06)6351-8925
東京事務所：〒110-0015 東京都台東区東上野 3 丁目 14-7 龍田ビル TEL(03)5816-7080 FAX(03)5816-7081

目次 Contents

2	新年のご挨拶	(公社)日本建築積算協会 関西支部 支部長 宮川 明夫
3	年頭所感	国土交通省 近畿地方整備局 営繕部長 白川 和司
4	地域だより(和歌山県)	和歌山県県土整備部公共建築課 課長 前中 伸之
5	地域だより(京都府)	京都府建設交通部 営繕課長 玉井 幸人
6	地域だより(奈良県)	奈良県まちづくり推進局 営繕プロジェクト推進室長 水口 喜英
7	地域だより(兵庫県)	兵庫県県土整備部住宅建築局 営繕課長 戸田 隆彦
8	地域だより(滋賀県)	滋賀県土木交通部 建築課 課長 林口 富雄
9	関西支部役員選任立候補届出の公示	
10	建築コスト管理士・資格更新のご案内	
12	平成28年度「建築コスト管理士」試験の報告	
13	平成28年度「建築積算士一次試験」報告	
14	建築コスト管理士の声	株式会社安井建築設計事務所 大阪事業所 コスト計画部 藤田 昌宏
15	建築積算士の声	株式会社バル・システム 篠原 大介
16	事業講習委員会報告	事業講習委員会 委員長 渡邊 浩文
17	「建築生産とマネジメント」を受講して	株式会社フジ設計 藤田 和男
18	特別寄稿 ヒマワリに誘われて・・ガウディからの招待状・・	北野 正美
22	工場見学会に参加して	株式会社中野積算 小林 美穂
23	私の夢	株式会社エステム建築事務所 池田 沙弥
24	第69回積友会ゴルフコンペ報告	第69回幹事 藤田 貴司 佐田元敏和
25	賛助会員名簿	
	協賛広告	
	事務局だより・編集後記	

■新年のご挨拶



(公社)日本建築積算協会 関西支部

支部長 宮川 明夫

新年明けましておめでとうございます。

関西支部の会員並びに賛助会員の皆様には、新年を清々しく迎えられたこととお喜び申し上げます。

また、日頃より当協会の活動にご理解とご協力をいただき厚く御礼を申し上げます。

昨年も様々な出来事がありました。最近毎年のように言われます、地球温暖化に伴う自然災害が目立っています。1月には、奄美大島で115年ぶりの降雪、沖縄本島にも観測史上初の雪が記録され、首都圏では6センチの積雪がありました。4月には熊本地震が発生、最大震度7が2度もあり、活発な余震も観測され、甚大な被害が発生しました。秋には、台風10号が初めて太平洋側から東北地方に上陸、10号を始め4つの台風で東北・北海道に多大な被害をもたらした。10月には阿蘇山が36年ぶりに噴火し、広範囲な地域に被害や影響を受けました。

政治では、小池さんが東京都知事に就任、矢継ぎ早に情報を発信、移転の決まっていた築地市場の豊洲移転を延期、すると盛土問題やら地下空間から有毒なベンゼンやヒ素を検出、移転問題の結論は、オリンピック施設見直しと共に、今年に持ち越されました。

海の向こうでは、ドナルドトランプ氏が次期大統領に決定し、その過激な発言から日米同盟や懸案のTPPもどうなるのか？

建築関係では、国立西洋美術館が「ル・コルビュジェの建築作品」の構成資産として「世界文化資

産」に登録されたことは、建築界として晴れがましいことでした。

8月には、リオオリンピックが開幕、4年後に東京オリンピックを迎える日本は、過去最高の41個の金メダルを獲得、たくさんの忘れられない感動を与えて頂きました。

上記以外にも人気(アイドル)グループ「スマップ」の解散。

「ポケモンGO」がブームになり歩きスマホが急増し、普段人のいない公園に数百人が集まり大騒ぎになっていましたねえ！

イチローが日米通算4256安打を更新し、8月には、30人目のMLB通算3000本安打を達成し、大リーグ野球殿堂入りをほぼ確実になったというのもうれしいニュースでした。

今年の干支、「**丁酉**」(ひのと とり)は、「「産みの苦しみ」から未来への希望や幸せが垣間見える年」だそうです。新たなスタートの年ともいえますねえ！

新年を迎えまして、関西支部役員は心をひとつにして、世代交代をさらに進め、次の世代が希望や幸せを感じられるような団体を目指し、新たな気持ちでスタートします。

皆様には今年もまた、支部活動へのお力添えと、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

皆様にとって、本年がすばらしい一年になりますよう祈念し、新年のご挨拶とさせていただきます。

■年頭所感



国土交通省 近畿地方整備局
営繕部長 白 川 和 司

皆様、新年明けましておめでとうございます。

さて、昨年は、熊本地震、台風10号、鳥取地震などの災害が発生しました。被災された方々にたいしまして、衷心よりお見舞い申し上げます。特に、熊本地震におきましては、官庁営繕で進めています官庁施設に対する防災拠点施設の耐震化政策の重要性を、地方公共団体の庁舎が被災し、その機能の発揮に苦慮されている状況や、業務上の書類の取り出しに苦労されている状況を見まして、あらためて感じた次第であります。

国土交通省では、「国家機関の建築物及びその附帯施設の位置、規模及び構造に関する基準（平成6年12月15日建設省告示第2379号）」の「第四構造に関する基準」により、地震に対し、構造体、建築非構造部材の耐震性能、建築設備の耐震性能が定められています。耐震性能の目標は、建物で行われる機能や用途によって、区分されていますが、災害対策基本法見に基づく指定行政機関、指定地方行政機関、病院、社会福祉施設等によるものと規定されています。地方公共団体におかれましても、先日、参加しました大都市設備技術担当者会議での意見交換で、政令指定都市で耐震性能の目標が個別に規定されていることがわかりまし

た。具体的には、先ほど述べました告示に基づき、具体的な基準として制定された「官庁施設の総合耐震・対津波計画基準」を参照し設定されているとのことでした。一方で、先日、消防庁の発表された地方公共団体を対象にした庁舎の耐震化率が、74.8%となっておりまして、防災拠点となる公共施設等の耐震化の状況全体で88.3%であることに比べて、低い数字になっていました。耐震化が進んでいない防災拠点となる地方公共団体の庁舎の整備が遅れている状況がある中で、建設業界からの支援にも期待するところであります。

さて、近畿地方整備局管内でも、耐震性能不足施設の改善や防災拠点機能強化を進めているところですが、大阪地区では、現在、大阪第6地方合同庁舎の整備に、PFI方式で着手しておりまして、昨年10月31日に、実施方針の公表をさせていただきました。また、和歌山地区でも、和歌山地方合同庁舎の整備を行い、耐震性能不足庁舎の改善を進めています。

最後になりますが、皆様が、輝かしい新年を迎えられ、さらに飛躍の年となることを祈念しまして、新年のご挨拶とさせていただきます。

■地域だより



和歌山県

和歌山県県土整備部公共建築課

課長 前 中 伸 之

新年あけましておめでとうございます。

平成29年の新春を迎え、協会関西支部会員の皆様方には、ますますご健勝のこととお慶び申し上げます。

また、平素は和歌山県の公共建築行政の推進にご協力を賜りまして、厚くお礼申し上げます。

「公共工事の品質確保の促進に関する法律」が、平成26年6月に改正され、第7条に発注者の責務として、「適正な予定価格の設定」「適切な工期設定」「適切な条件明示と設計変更」が明確化されています。

本県でも、国土交通省官庁営繕部で作成された『「営繕積算方式」活用マニュアル』を準用させていただいているところであり、正確な数量積算による予定価格の設定はもとより、共通仮設費の率以外の積み上げ分の適正化、適正な工期設定と工期に連動した共通費の算定、最新単価の適用や設計図書の柔軟な変更、特に、注意を払って業務を行っているところです。

昨今の県有施設の工事につきましては、耐震性が低い建物の建替えや耐震化工事も一段落し、津波被害の可能性のある建物の高台移転工事を進めているところです。また、施設の長寿

命化のための大規模改修工事や施設の統廃合で不必要となった建物の解体工事が増えてきている状態です。

なんとしても、適正に公共建築行政を進めて行くためには、協会員の皆様を始め、設計者の方々のご協力がますます必要となって参りますので、今後ともよろしくお願いします。

最後になりましたが、社団法人日本建築積算協会関西支部の更なる発展と協会員の方々のご健勝とご活躍を祈念いたしまして、新年のご挨拶とさせていただきます。

■地域だより



京 都 府

京都府建設交通部

営繕課長 玉 井 幸 人

新年あけましておめでとうございます。

会員の皆様には健やかな新年を迎えられたこととお喜び申し上げます。

また、平素は京都府建築行政の推進にご理解とご協力をいただき誠にありがとうございます。

京都府では、昨年度北部と南部を結ぶ全長約100kmの京都縦貫自動車道が全線開通し、これを記念して「海フェスタ京都」や「海の京都博」が盛大に開催され、多くの方に訪れていたところです。

今年度は、山陰近畿自動車道「野田川大宮道路」や新名神高速道路「城陽・八幡間」の開通により京都府の南北約140kmが高速道路で結ばれ、安心・安全な京都づくりと共に、これからの大交流時代を支える交流基盤として京都創生への期待も大きなものがあります。

こうした社会基盤整備と共に、京都府では古都京都だけではない京都の魅力を発信するプロジェクトとして、「もう一つの京都キャンペーン」に取り組んでいます。

昨年度の「海の京都博」に続き、今年度は中部エリアの6市町で第40回全国育樹祭を中核イベントとした「森の京都博」が、さまざまな交流型イベントを展開しつつ開催され、2017年度は南部エリアで「お茶の京都」をテーマに多くのイベントが開催される予定です。(HPはこちら

ら <http://www.pref.kyoto.jp/anotherkyoto/all/index.html>)

こうした中、公共建築では京都府茶業研究所の建て替え事業が進められています。

本事業は、老朽化が進む茶業研究所を府内産木材を活用した木造建築物として建て替えると共に、広く研究成果を発信する交流拠点となる施設を目指すものでもあります。

また、木材調達では工事発注に先行して材料の分離発注にも取り組んでいるところです。

当課では初めての経験でもあり、今後の公共木造建築普及に向け、その効果等の把握に努めたいところです。

地域創生が進められる中、公共建築物整備においては豊かで安全な暮らしを支える府民共有の資産として、安全で使いやすく利用者ニーズやユニバーサルデザインに配慮した良質で長く使える、地域に愛される施設づくりを進めたいと思います。

そのためにも、適切な設計や発注条件設定、正確な積算と適切な価格での供給を可能とする技術レベル維持に向け、若年化する職員のスキル向上にも努めたいと考えています。

結びにあたり、貴協会関西支部のますますのご発展と、会員の皆様のご健勝とご活躍を祈念いたしまして新年のご挨拶とさせていただきます。

■地域だより



奈良県

奈良県まちづくり推進局

営繕プロジェクト推進室長 水口喜英

新年あけましておめでとうございます。

営繕プロジェクト推進室は平成27年4月に新設された新しい室で、奈良県の主要プロジェクトに係る発注、設計・工事関係業務に加えて、プロジェクト構想段階での技術支援を行っています。

基本設計の前段に関与することで、基本・実施設計へのスムーズな流れを作り、施設所管課が主導するプロジェクトのコンセプトを建物の機能・意匠に生かしていくことが期待されています。

去年は、旧農業大学校を建替えて「なら食と農の魅力創造国際大学校（NAFIC）」がオープンし、「奈良県農業研究開発センター」を同じ建物内に配置することで、連携した運営を可能としました。

国の特別史跡でもある平城宮跡では、その価値を現代に生かそうと、交通ターミナル機能を持った学習・観光・交流・物産の拠点施設整備を国と協力して進めています。

また、世界遺産である東大寺や興福寺、その周辺を含めた奈良公園の魅力を高め、国内外の来訪者に楽しんでいただけるような施設整備を

進めるプロジェクトが進行し、（仮称）国際芸術家村構想では、奈良の歴史的文化資源（建造物・埋蔵文化財・美術品・絵画・書道など）を継承・活用し、交流・創造・発信を行う拠点づくりが構想されています。

三重県、和歌山県ともつながる熊野古道を擁する広大な奈良県南部には、古くから修験者の修行場として使われてきた険しくも豊かな自然があり、すぐれた品質の吉野杉・檜の産地として林業が営まれてきました。知事は林業の後継者育成にむけてフォレストアカデミー構想を掲げ、また、豊かな森に守られた清流・溪流に生息する鮎・アマゴなどの水産資源を産業として安定化させようと水産試験場の整備も構想されています。

今年も関西各府県のみなさんのお力添えをお願いします。是非、奈良でお遊びください。



■地域だより



兵庫県

兵庫県県土整備部住宅建築局

営繕課長 戸田 隆彦

明けましておめでとうございます。

会員の皆様方には、健やかな新年をお迎えになられたことと心からお喜び申し上げます。

兵庫県の営繕行政の推進につきましては、平素から格別のご理解とご協力をいただき厚くお礼申し上げます。

さて、2度にわたって震度7を観測した熊本地震と10月に発生した鳥取地震において被災された皆様に、心からお見舞い申し上げます。

熊本地震では、兵庫県は関西広域連合の一員としてカウンターパート方式で益城町における熊本県や関係機関・団体等との連絡調整や情報収集のため様々な職種の人材を組み合わせた支援チームを派遣し、このうち建築職は延べ36人・日が被災建築物応急危険度判定業務に当たるとともに、国土交通省の要請により熊本県内の仮設住宅の整備を支援するため、建築職1名と電気職1名、機械職1名から成る2チームを6月11日から7月8日までの間派遣しました。

また、被災者の広域避難受け入れのため、県営住宅100戸を用意したところ47件の問い合わせがあり、このうち2世帯を受け入れました。

このように、広域災害においては、避難所の運営や仮設住宅の建設など短期的かつ膨大な行政需要を抱える被災自治体に対し、ノウハウを有する自治体が長期的かつ継続的に支援していく仕組みを作ることの重要性を改めて認識したところです。

東日本大震災以降、日本列島は地震の活動期に入ったといわれていますが、地震発生 of 切迫性が指摘されている南海トラフ巨大地震への対

策を急ぐ必要があります。

兵庫県では平成27年度に兵庫県耐震改修促進計画を見直し、平成37年度までに住宅や多数利用建築物の耐震化率を97%に引き上げる新たな目標を設定したところですが、この目標達成のため住宅ではポスティングや対面による働きかけ等の草の根意識啓発を徹底するとともに、民間の多数利用建築物の耐震化支援策として補助や融資制度を拡充しました。

一方、県有施設の耐震化率は類型毎にみると平成27年度末現在、県立高校は96%、県庁舎等は88%、県立病院は92%、県営住宅は86%と道半ばであり、今後県有施設の建て替えや耐震改修をより一層円滑に進め、改定促進計画に定める新たな目標達成に寄与していく必要があります。

このためには、国が普及・促進を図ろうとしている営繕積算方式を活用し、より適正な工事費の算定や工期短縮を図り耐震化をより一層加速させるとともに、東日本大震災を教訓として南海トラフ巨大地震による津波浸水想定区域において施設整備する場合には、浸水防止壁や防潮扉の設置等の耐水対策、施設周辺の県民が一時的に高所へ避難が可能となる屋外階段の設置や電源・熱源の上階設置等の対策を講じ、県有施設の価値をより高めることとしていますので、貴協会の皆様にはご指導をいただきますようお願いいたします。

最後になりましたが、今後とも貴協会の益々のご発展と会員の皆様のご活躍を祈念しまして新年のご挨拶とさせていただきます。

地域だより



滋賀県

滋賀県土木交通部 建築課
課長 林 口 富 雄

平成29年酉年の新年を協会会員様におかれましては穏やかにお迎えになられたこととお喜び申し上げます。

昨年は本県のファシリティ関連工事のスタートの年とし、県立施設の長期保全計画、更新・改修方針に基づく屋上防水改修工事、外壁改修工事また設備関係では空調設備改修、非常放送設備改修工事を実施してきました。

この取り組みは、平成27年度から建築課内に設置しましたファシリティ支援係を予防保全・計画修繕の専門係と位置付け、対象施設の現場調査を実施するとともに、施設データを電子化した支援システムを活用して長期保全計画を策定し、この事業を実施しているものです。

従来型の不具合が発生してからの改修工事では、改修時期による予算の集中や不具合状態の恒常化・深刻化などが課題となっていましたが、これらに対応した取り組みとなっています。

今年の工事としましては、名神高速道路上り線の草津サービスエリア南西側に緑豊かなびわこ文化公園があり、そこに昭和59年にオープンしました滋賀県立近代美術館を分棟型回遊式庭園美術館として整備し、平成31年開館を目指し

て現在実施設計作業中で、新年度に工事発注・工事着手の予定です。

さて、公共工事の品質確保の促進に関する法律が平成26年改正され、公共工事を施工する者が、公共工事の品質確保の担い手を、中長期的に育成、確保するために適正な利潤を確保できるよう、予定価格を適正に定めることとされており、施工の実態等を的確に反映した積算が求められております。

建設業界からも、積算数量の適正化、適正な予定価格での発注のご要望をいただいております。発注に係る設計精度を高めていくには貴協会が担う役割が益々重要になるものと思います。

公共建築における積算業務の更なる適正化に向けて、今後とも貴協会のご理解、ご協力をよろしくお願い申し上げます。

最後に、貴協会の益々の発展と会員皆様のご健勝を祈念しまして、新年のあいさつとさせていただきます。

関西支部役員選任立候補届出の公示 平成29年度役員改選

平成29年4月に関西支部役員の改選が行われます。つきましては新役員の立候補届を下記要領に従って公募致しますので期日内に届出を行ってください。

平成29年度役員改選に伴う関西支部役員選任立候補届出の公示

公益社団法人 日本建築積算協会 関西支部
支部役員選任委員会

平成29年度役員改選に関して、関西支部役員選任細則第4条（立候補の公示）の規定に基づき、役員立候補者の届出を下記の通り公示します。

記

1. 立候補資格 立候補の資格は公示の日において、
 - ① 支部所属の正会員であること（ただし、役員のうち10名以内および監事のうち1名以内を支部正会員以外の者から選任することができる）
 - ② (公社)日本建築積算協会 規則第5条2項に該当しないこと
 - ③ 5名以上の会員の推せんがあること
2. 役員任期 支部役員の任期は2年とする
3. 役員報酬 無 償
4. 提出書類
 - ① 履歴書 1通
 - ② 推せん会員5名以上の名簿（要捺印）
 - ③ 立候補届出（書式自由）
5. 提出期日 平成29年1月15日から平成29年2月15日まで
6. 届出提出先 〒542-0083 大阪市中央区東心斎橋1-3-10 長堀堂ビル3階
(公社)日本建築積算協会関西支部 役員選任委員会

建築コスト管理士・資格更新のご案内

建築コスト管理士資格停止の皆様へ 平成29年3月に更新をむかえるかたのためのCPD単位取得について

新年あけましておめでとうございます。

近年、建築コスト管理士受験者並びに建築積算士試験受験者が毎年増加しておりますことに、認定事業委員会として大変嬉しく思っております。しかし試験に合格されて、資格を取得された後には建築コスト管理士資格は5年ごとに、建築積算士資格は3年ごとに資格更新をしていただく必要があります。今回は支部報75号の誌面から、平成23年(2011年)度に建築コスト管理士資格を取得された方で、何らかのご都合で平成28年3月に更新されなかった(出来なかった)方々にBSIJ-CPD単位取得についてご案内させていただきます。

昨年3月にコスト管理士資格を更新されなかった方は、再度平成29年(2017年)3月で資格更新のためのCPD必要単位取得が締切となります。建築コスト管理士資格更新の登録を行うに際してはBSIJ-CPDの必要単位数取得が必要となります。この事に関して以下にご案内させていただきます。この機会、今年3月末までの資格更新を逃しますと、資格を喪失となりますのでご注意ください。

A. 当協会のCPD制度は、6年間114単位の取得が必要となります。

(本来は5年間での単位数ですが、1年延長されて、次の更新期間が4年間となります。)

B. なるべく合理的に単位を取得できますように、いくつかの方法をご案内いたします。

① 会誌「建築と積算」掲載記事のうち(CPD認定記事)での学習を申請することにより、認定記事1件当たり1単位が加算されます。認定記事に関する年間取得取得単位の上限は10単位(10件)です。

② 専門書の購読に対して、1冊当たり2単位(/2時間)を取得できます。また、年間取得単位の上限は12単位となります。

C. さらに、下記のようないずれかの要件を満たされている方はCPD必要取得単位数(5年間で114単位)を34単位緩和する措置が可能です。(即ち、5年間で80単位となります)

① 資格更新年度の3月末において、建築積算士(旧名称 建築積算資格者)取得後20年を超える建築及び関連業務の実務経験を有するもの。

② 資格更新年度の3月末において、1級建築士取得後25年を超える建築及び関連業務の経験を有するもの。

D. 本部総会及び支部総会への出席で、それぞれ3単位/回を取得することができます。

E. 当協会の本部ホームページに案内しているeラーニング『今年度「建築積算士更新講習」講座』で、8単位を取得する事ができます。

【履修結果の記録と単位認定】

CPDに関わる手続きは、全てインターネット・オンラインシステムによって行われます。つまり、当協会のホームページ上でデータ入力、及び内容確認を行うことができます。

①参加登録申請

CPD制度未登録の方は、当協会ホームページから登録を行ってください。

ホームページ上にある「CPD操作マニュアル(参加者用)」を参照の上、ホームページから参加登録申請を行いますと、ID番号を付与したログインページが作成されますので、パスワードを設定してください。

②履修結果の記録

当協会の認定プログラムを履修した場合は、履修結果はプロバイダーが入力いたしますので参加者は履修記録の確認のみとなります。つまり、自動的に単位が付与されますので、自己申請の必要はありません。但し、その他の場合は履修結果の記録(入力)は参加者自身が行ってください。(自己申請)

③単位認定

参加者からCPD履修結果の記録(入力)が行われた場合、CPDプログラム認定審査委員会において審査・認定を行います。

CPD単位の取得状況をご覧になる場合は、ログイン後のマイページ内にある「取得単位数確認」画面にある「建築コスト管理士更新要件確認」内に現状の単位数が表記されます。

建築コスト管理士資格の更新期限は今年3月末です。

せっかく取得された資格を、うっかりと失効されることのないように、計画的にCPD単位取得の申請を行ってください。また、CPD単位取得申請は、年度ごとに行うことが原則となっております。

平成28年度「建築コスト管理士」試験の報告

認定事業委員会

建築コスト管理士とは、企画・構想から維持・保全、廃棄にいたる建築のライフサイクル全般に渡って、コストマネジメント業務に関する高度な専門知識及び技術を有する専門家です。

英国チャータード・サーベイヤーズ協会(RICS)会員にダイレクトエントリーし、国際的に活躍している「Chartered Quantity Surveyor(QS)称号取得が可能な資格です。

平成28年度の「建築コスト管理士」試験（学科と短文記述試験）が、昨年10月23日（日）に全国10都市の試験会場で行われ、133名の方が合格されました事を報告致します。

建築コスト管理士として求められる知識の具体例（原則、建築積算士に求められる知識を包含する）

- ☐ コスト情報収集・分析：商取引の基礎知識、コスト情報の入手方法・分析手法、コストに影響を与える諸要因
- ☐ 広範囲な市場価格：経済の現況、建設産業の需給バランス、建物市場価格(マクロ)、建築構成材市場価格・メーカー・専門工事会社見積価格と取引価格、不動産市況と取引実態
- ☐ 発注戦略：工事発注条件の策定、契約文書と付帯条件、コストオン協定書と共益費、競争環境の醸成、入札手続きと評価
- ☐ 調達戦略：元請・下請階層関係、下請業種(メーカー・専門工事会社)、発注パッケージ
- ☐ フィジビリティスタディー：事業収支計画の概要、事業収支に影響を与える要因、建設工事費キャッシュフローと金利
- ☐ 概算技法：状況に応じた概算技法、コストデータの活用法、コストアロケーションとコストコントロール技法
- ☐ 施工技術・工期算定：特殊構工法、新技術、改修工事の特徴、解体工法、工期算定方法の概要、共通費(共通仮設、現場管理費、一般管理費)算定方法の概要
- ☐ LCC・VE及びFM・PM・CM・PFIの概要：LCCの内容と算定方法、VEの内容と技法、FM・PM・CM・PFIの概要
- ☐ 環境配慮：社会的側面と法的側面、環境対応技術のトレンド、環境配慮とコスト
- ☐ 建築関連法規：建築基準法関連の基礎、コストに影響を及ぼす法規の概要
- ☐ IT活用：情報技術のトレンド、IT機器操作・ソフト活用

以下の方々に「建築コスト管理士」資格の取得をお勧めします

次のような方々に受験をお勧めいたします。

- ◇ 発注者の立場で、コストマネジメントを統括、あるいは担当されている方
- ◇ 設計事務所あるいはCM会社で、専らコストマネジメントを担当、あるいは設計者や工事監理者としてコストマネジメントに関わっている方
- ◇ 建設会社の積算部門でコストを担当、あるいは原価管理部門で施行段階の原価管理を担当されている方
- ◇ 積算事務所でコストマネジメントを担当されている方、あるいは目指している方
- ◇ 官公庁のコスト管理、その他建築プロジェクトにおいて、コストマネジメントに関わっている方

平成28年度「建築積算士一次試験」報告

認定事業委員会

平成28年度の「建築積算士一次試験（学科）」を、平成28年10月23日（日）全国10会場で実施、全国で366名が受験して、219名が合格（合格率59.8%）されました。

関西支部では、大阪府建築健保会館において、67名が「建築積算士一次試験（学科）」を受験されて、42名の方々が合格（合格率62.6%）されています。

建築積算士二次試験には、一次試験合格者と、一次免除の方で二次試験からの受験者が全国の会場で今年1月22日（日）に受験をされることになります。合格発表は3月1日（水）10時にホームページで公開致します。

平成29年度「建築積算士」受験の参考までに、28年度に実施した試験方法と出題傾向を記述いたします。

■「一次試験」

- ・試験時間・・・3時間
- ・出題範囲・・・建築積算士ガイドブック全章、（建築数量積算基準・建築工事内訳書標準書式の主要な部分は、平成27年4月1日版以降のガイドブックに記載されています。）
- ・問題数・・・50問
- ・問題形式・・・4肢択一

■「二次試験」

①短文記述試験

- ・試験時間・・・1時間
- ・出題範囲・・・建築積算士ガイドブックの内第1～4章、第9～15章を対象とする。
- ・問題数・・・2問
- ・問題形式・・・問題に対する解答を短文（200字以内）で記述する。

②実技試験

- ・試験時間・・・4時間30分
- ・出題範囲・・・建築積算士ガイドブックの内第5～8章、巻末の基準類（建築数量積算基準・内訳書標準書式の主要な部分は、平成27年4月1日版以降のガイドブックに記載されています。）
- ・問題数・・・躯体（コンクリート、型枠、鉄筋）、鉄骨、仕上、内訳明細作成・工事費算出（以上4分野）
- ・問題形式・・・図面に基づき、数量を計測、計算する。内訳明細書を作成する。
- ・短文記述試験は、「建築積算士ガイドブック」から出題されますので、必ず熟読してください。

■「受験資格」

- ・一次試験を受ける年の4月2日現在、満17歳以上であれば、学生、社会人すべて受験出来ます。
- ・二次試験受験資格は、一次試験に合格した方、及び一次試験を免除された方となります。

■「一次試験免除」

- ①当協会が認定する建築コスト管理士、建築積算士補資格取得者
- ②建築士法による一級建築士、二級建築士及び木造建築士の免許を受けている方
- ③建設業法による一級建及び二級建築施工管理技士の合格証明書の交付を受けている方
- ④当協会が実施する積算学校卒業生
- ⑤一次試験合格者

*詳細については関西支部事務局までお問い合わせ下さい。

建築コスト管理士の声



株式会社安井建築設計事務所
大阪事務所 コスト計画部

藤田 昌宏

私がコスト計画の業務に携わるようになり、今年で14年目になります。

初期の頃は、概算・予算・査定といった与えられた業務を無知の強みでただこなしてやった気になっていたように思いますが、年数を重ねるごとに建築主・設計者・施工者とのバランスを保ちながらコントロールしなければならない「建築コスト」の重要性和難しさを痛感するようになりました。

建築生産プロセスが大きく変化する現在、「設計」「施工」に加えて第3の領域として「マネジメント」が認識され確立してきました。建築主の要望を反映し、予算内におさめ、満足の行くものを完成させるためには、建築生産プロセスの「川上（企画・構想～設計）から川下（施工～維持・保全・廃棄）に至るまでのコストマネジメント」が非常に重要で、それを実現するには建築主・設計者と一体となりプロジェクト遂行することがより重要であると感じます。

川上のプロセスでは、適正なコストプランを計画・提案し、プロジェクトの方針を打ち出していくことが絶対不可欠と考えます。それだけにコストプランニングがプロジェクトの中で担う役割や重要性・リスクの大きさを痛感するところでもあります。また、初期段階で打ち出したコスト方針がぶれない様に各プロセスで概算工事費を算出し、コストコントロールすることが大切であるとも考えます。

これらを適切に実現するためには、コスト情報収集・市場価格・発注形態・施工技術などの知識は元より、社会の変動を敏感にキャッチするアンテナを張り巡らしコスト感覚を研ぎ澄ますことが必要であると感じます。実態を知ることがより精度の高い概算工事費の算出の繋がると考えます。

建築コスト管理士の業務範囲の広さと必要な知識量の多さを痛感しているところではありますが、その領域は設計事務所におけるコスト計画に求められるスキルそのものであるとも思いますので、常にスキルアップする高い意識を持って日常業務に携わっていくことを心掛け、日々精進していきたいと思っています。

建築積算士の声



建築積算士を取得して。

株式会社バル・システム

篠原 大介

私が建築積算士を知ったのは、ほんのごく最近の事です。何故かと言いますと、私は3年前まで総合建設業で建築現場の現場監督に従事していたからです。もちろん現場監督の業務には積算業務も含まれていますが、あくまでもコンクリート数量や型枠数量のチェックと言った内容のもので、そこまで密な精度が求められるわけではありませんでした。

転職をきっかけに私は積算業界に足を踏み入れました。しかも、積算事務所ではなく積算システムを取り扱うメーカーの営業職です。なぜ私がメーカー営業に転職を決めたかと言うと、ある積算システムが大きなきっかけでした。私は現場監督の時に、コンクリート数量や型枠数量をエクセルで数量算出していました。もちろんそれ以外にも現場監督と言う立場上、現場管理や工程管理、安全管理と言った様々な業務の中での積算業務なので日によっては夜遅くまで数量算出を行う日も多々ありました。また、昨今の建築業界の人手不足が影響し業務は多忙になっていく一方、現場の数量把握は必須事項でした。

そんな時に出会った積算システム「HELIOS」は私にとって衝撃的でした。今までエクセルを使っていたやり方を根本から変える配置手法での数量算出だけではなく、3Dでの表現やDXF形式での図面出力といった驚きのシステムでした。システムの内容を初めて面接の場で紹介され私は、このシステムを多くの人に広め、少しでも日々の業務を省力化し、より精度の高い数量把握ができる事を広めていきたいと思い転職を決意しました。

転職後は営業職なので、総合建設業や積算事務所、設計事務所と言った建築のプロの皆様との対話が当たり前となりました。話の内容は、積算から建築全般の内容と幅広くいろんな知識が求められました。建築の知識なら今まで現場監督で培った内容が多少なりとも役に立ちましたが、積算の知識に関しては全くと言ってありませんでした。

そんな時に建築積算士の存在を知り、積算のプロの技術者に対応するには私も同じ積算のプロにならなくては説得力のある会話が出来ないとはい資格取得を決意しました。

試験勉強では積算基準にかなり手こずり苦労しました。やはり現場での数量算出のやり方が染みついていたのか現場拾いと、基準拾いとギャップがなかなか克服出来なかったからです。

しかし、勉強していく中で積算基準の重要性を認識して、その結果、無事建築積算士の取得が出来ました。取得以降は様々なお客様に対して胸を張って建築積算士ですと言う事が出来るようになったのと、自分自身に対してもまだまだ経験不足ではありますが、積算のプロとして多少なりとも自信を持つことが出来ました。今後は、この自信を胸に秘めより多くのお客様に積算システム「HELIOS」の提案をして行きたいと思っています。

事業講習委員会報告

「知のシリーズ 始まる」

事業講習委員会

委員長 渡 邊 浩 文

会員の皆様、新年明けましておめでとうございます。

旧年中は当協会事業講習委員会の活動に対してご理解ご協力、また講習会にご参加頂きありがとうございました。

平成28年度 事業講習委員会では10の講習会を企画しましたが、それも残すところ2月に開催予定の「建築プロジェクトにおけるコストマネジメントと概算」のみとなりました。

その中で当初9月に予定していた「鉄骨数量積算実践講座」については残念ながら募集人数に満たず開催中止となり、申し込み頂いた方を始め多数皆様に大変ご迷惑おかけしたことをこの場を借りてお詫びいたします。次年度は講習会の内容を見直し、より魅力のあるプログラムを多数提供できるように取り組んでいきたいと考えています。

さて、昨年はプログラムの見直し第1弾として、従来の積算技術面の講習会ばかりであった内容を見直し、「日常の業務には直結しないかも知れないがいつかその知識が必要になる時もあるかもしれない」、このようなコンセプトのもと、知識を高める講習会として「知のシリーズ」と銘打ち、企画・開催を始めました。

7月に「プレストレストをもっと知ろう～基本理論から設計例、そしてコストまで～」。10月には「知ることから始めよう ～建築生産とマネジメント～」の2つ講習会を開催し、いずれの講習会も定員を超える参加者があり、内容についてもアンケート結果より、参加者のほとんどの方から「満足」との回答を頂いております。

次年度となる今年の4月以降も引続きこの「知のシリーズ」を継続して企画・開催をしていきたいと考えています。

今後予定しているテーマとしては、会員の皆様より取り上げて欲しいとの声が多かった「杭」や「BIM」



などを中心に現在委員会にて検討を始めています。どうぞこれから第3回、第4回と続く「知のシリーズ」に期待してお待ち頂き、開催の折は是非ともご参加頂ければと思っています。

最後になりましたが、会員の皆様にとってこの平成29年が良い年になることを祈念いたしまして新年のご挨拶とさせていただきます。

「建築生産とマネジメント」を受講して



株式会社フジ設計

藤田 和 男

最近、新聞やテレビのニュースなどを見ていると、建築に関する多くの事柄がピックアップされています。単純にデザイン的な話題から施工の不手際、データ改ざんなど様々です。ニュースになるのは比較的ネガティブなものが多いので、一般の方々の建築界に対する不信感は増す一方のように思います。

このような時勢の中、建築プロジェクトに関するマネジメントの重要性は非常に高まっていると考えます。私は意匠設計事務所に勤めているのですが、今回の講習会のテーマは非常に興味深く、また、勉強したいと思い参加いたしました。普段の業務ではあまり意識的にマネジメントを考えることはなかったのですが、今回の講習では「プロジェクトマネジメントとは何か、どうあるべきか」ということを丁寧に解説していただき、私にとってとても意義のあるものとなりました。

簡単に要点を挙げますと、まずはプロジェクトの透明性を高めることにあります。コスト面の透明化は当然ですが、いつ、誰がそれを決めたのかという事を明確にし、後から第三者が見ても決定過程が分かるようにしておく事が重要となります。何か問題が発生した際に混乱が生じないようにしておかなければなりません。次にPDCAサイクルの実施です。PDCAとはPlan（計画）・Do（実施）・Check（検証）・Action（見直し）ですが、このサイクルをプロジェクト内で繰り返し行うことによりプロジェクトが改善され、より良い結果へ向かう事ができます。その他にリスクやコストに関するマネジメントのお話もあり、今後の業務に役立つエッセンスを得る事ができました。

講習後半では日本のBIMの現状や今後について、またシンガポールのBIM活用など、これからも建築に携わる者として非常に参考になるお話を聞く事が出来ました。

今後も「知のシリーズ」や、刺激的な講習会を期待しております。ありがとうございました。



特別寄稿

🌻 ヒマワリに誘われて・・ガウディからの招待状・・ 🌻

北 野 正 美

我が家では、旅行は『1泊が限度』というのが定番になっている。それは可愛い家族の一員のピピとモモがいるからなのです。ピピとモモは、もちろんペットの犬なのですが、彼等は多分そのことに気が付いておらず、普段から当然のことにように自己主張をします。



いつでも旅行に行く日の朝には、『これは今日の夕食、これは明日の朝食、これはおやつ』と言いつつ聞かせて、トレーに分けて入れるのですが、出発の準備をしてる間にパクパク平らげて、『腹ごしらえが出来たから、連れて行け』と言わんばかりの仕草。出掛ける時になって、ウルウルした目で見送られると、『やっぱり旅行はやめようかな?』と思うのが毎度のことなのです。

入社以来、長年に渡り勤め上げた会社を定年退職することになり、記念に旅行にでも…と思い立ったものの、長期間家を空けるとなると、犬の世話のことがどうしても気にかかる。

そんなことを、あれこれ思案しているうちに、犬の世話を何とか引き受けてもらえることになり、ようやく旅行に行けるようになりました。



会社人間として長年、忙しい毎日を送ってきた体には、ゆったりとした気分が味わえる場所がいいな。そこで、以前に見ることができなかった、スペインのヒマワリをぜひ見に行きたいと思い立った。

未完の工事といわれたサグラダファミリアが完成に近づいているとか。ガウディ没後100周年に当たる2026年に完成予定と聞いたので、ぜひこの機会に合わせて完成前の姿を見に行こう！



関空を飛び立って約11時間半、ドイツのフランクフルトに到着。昼間の14:30。日本とは7時間の時差だから、夜の9:30頃かな？

約3時間の乗り換え待ちの間に、ここでユーロ圏への入国審査となります。日本人の観光客は審査が速く、スムーズに通過できた。入国審査が終わった後は、ユーロ圏内が自由に往来できる。

フランクフルトからスペインのバルセロナまで、2時間の空路。現地時間で19:30に到着。まだ明るい。日本では朝の2:30かな？関空を出発してから、16時間半の旅。あ～疲れた～。それでも以前よりは早くなった。



Marina通りを歩いて北へ、街路樹が途切れたあたり、交差点に差し掛かかると、それは突然現れた。



高さ107m、古色の尖塔が4棟、新しい尖塔が4棟、サグラダファミリアである。目の前に迫ってきて、その威圧感がすごい。

高層部タワークレーン（トンボクレーン）が4基、低層部タワークレーンが2基。スレーも無く、控えワイヤーも無く塔の上から60～70m近くも自立していた。

こんな設置は日本では考えられないし、また出来ないことだけれど、街中を見渡して工事中のクレーンを見ると、みなこんな状態で自立してるのは、地震が少ない国なので、当たり前なのかも知れない。建築屋としては気になるところ。



内乱で資料が無くなったあと、模型を作りながら図面無しで工事を進めてきたようです。施工する立場としては、信じられないことです。

未完の工事として、あと300年はかかるといわれていた工事の完成が、急に早まったのはなぜか？とても不思議でした。◇観光客の増加で入場料収入が増えたこと。◇コンピュータの発達でコンピュータによる設計や3



DCAD・3Dプリンターにより、模型を作らなくてもよくなったこと。◇彫刻も手彫りでやらなくても、コンピュータからそのまま機械で彫れるようになったこと。◇建築的にも、クレーンの発達により揚重能力の進歩、PC等の工場生産による工期短縮、等々。聞いてみれば、なるほど理解できる。

誕生の門から入る。遠目で見た感じでは、大きくうねったような外壁仕上げのように見える。近付いて見上げれば壁一面が彫刻で埋め尽くされている。

キリスト誕生の物語が彫刻で表現されている。これはもう建築物の域を遥かに超えて、建物全体が彫刻の世界。芸術品なのです。

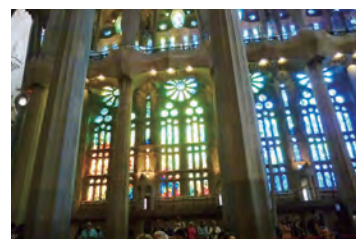
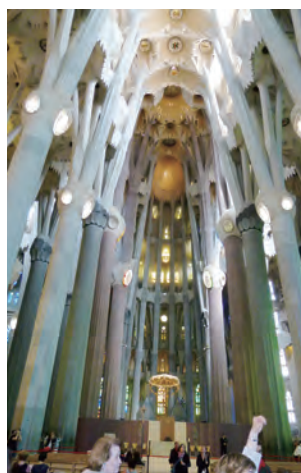
あっけにとられて立ち止まっていると、後ろから声が。どうやら、『早く行け』と言ってる。門を入りかけて一瞬、外尾悦郎氏作のてんとう虫が飛出した。

内部は、これがまた『凄い』の一言。奇抜な大空間。天井足場の心配をってしまった。

自然光をうまくコントロールして、東面の窓のステンドグラスは、朝日（生誕）の緑・青、静寂。西面の窓のステンドグラスは夕暮（入没）の赤と黄色、情熱。刻々と色彩が変化していくさまは、まるで目で見える音楽のようです。いつまでも見飽きない絶景に、ただ息を飲むばかり。



ガウディは建築家のみならず、100年も前にこのように壮大な構想や人を圧倒する技を持っていたことは、もはや芸術家としての域を超え、魔術師というのが相応しいのかも知れない。



スペイン南部、3,000m級の山々が連なるシエラ・ネバダ山脈。その山裾に、グラナダの市街が広がる。標高は730mを超え、夏でも涼しい避暑地。その街を見下ろす山の中腹に、アルハンブラ宮殿がある。

アルハンブラ宮殿は、時間ごとに入場出来る人数に制限があり、自由に入れなため、『旅の日程を、アルハ



ンプラの入場時間に合わせろ』と言われるほど、チケットが取れないのです。

入口を入ると、通路が思ったよりも狭く曲がりくねって、日本の城のイメージがある。攻めにくいということか。

元々は要塞であったところを、度重なる改築と増築で防御を備えた宮殿に生まれ変わったようです。中庭の池の水面に映る宮殿。回廊の柱1本1本が映り込んで美しい。

シエラネバダ山脈から延々と水路を築き、水を引き込んでいるから水が豊富。至る所に池があり、噴水が各所に配置されて、水の芸術品でもある。

赤茶けたレンガで造られた建物は、外部の荒々しさと内部の繊細さの二面性を持っている。内部の壁は、ほとんど漆喰が塗られている。表面の微細な色の変化に気がついて近づいてみると、漆喰に細かな模様が彫刻してあるのがわかる。宮殿の全ての部屋の壁全面に彫刻が施されていてこれはすごい。よくもまあこんな細かい細工が出来るものだ。

『アルハンブラの思い出』というギターの曲がある。スペインのフランシスコ・タレガの曲を村治佳織さんが演奏していることで知られているが、なぜあのトレモロの奏法なのか？いつもそう思っていました。床のタイル模様、壁の漆喰の彫刻模様、天井の寄木細工模様、そして中庭の池に映る建物がさざ波に揺れるさま、これらの微細な変化をトレモロで表現されているのだらう。目の前に展開される光景を見れば、納得。

フェノロサが、薬師寺の東塔を見て『凍れる音楽』と表現しましたが、ここアルハンブラこそ『凍れる音楽』だと思う。次々に展開される目を見張る光景に、正直なところ脱帽！



グラナダからセビリアに向かう途中、ミハスの町に立ち寄った海岸沿いに山が迫って、山すそを縫うように道路が延びる。山の中腹めがけて登っていくと、山の斜面に沿って白い町が現れた。ミハスの町です。家々が白い壁、赤い瓦で統一され、見るからに「地中海の雰囲気」の印象があります。



セビリアはセビーリャとかセビージャとも言われ、戯曲で有名な「セビリアの理髪師」で知られますが、実際の街並みは歴史のある趣のある街です。セビリアの市街に入ると、ひととき大きな建物が、セビリア大聖堂です。スペインで第一の大きさの大聖堂で、世界的に見ても第三位の大きさの大聖堂といわれ、イスラムの教会の建物のあとに、キリスト教の教会が建てられたため、イスラム建築様式が

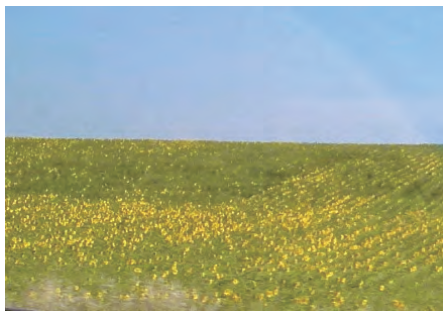


至る所に混在しています。

内陸部でありながら、大河グアダキシビル川に接しているため船が内陸部まで入り込める。コロンブスもこの川を下って、新大陸を求めて世界の海に出かけて行ったようです。



例年なら、このように満開のはずが～！



セビリアからマドリードに向かう道すがら、アンダルシアに入った途端、道路ぎわに突然ヒマワリ畑が広がった。カルモナからコルドバにかけて、右も左も、果てし無く広がるヒマワリ畑。

『一生に一度は見たい』と言われるスペインのヒマワリ畑。例年は5月の後半から6月いっぱいにかけて、一斉に満開になるヒマワリで、あたり一帯が埋め尽くされ、遙か彼方の山裾までも、黄色い絨毯の景色が延々と果てし無く広がるという。

今回の旅は、その時期に照準を合わせて来たはずなのに、3分咲きかな～。満開にはまだまだほど遠い。葉っぱの緑が目立つ。どうやら、今年は天候不順で、生育が遅れてるらしい。

今回の旅の目的の半分以上は、ヒマワリを見ることだったのに。残念です！

それでも、丘の上に連なって建つ風車が、『おもてなし』をしているみたいで、心が和む。ドン・キホーテのように、丘の上の風車めがけてチャーターバスが突進する。昔ながらの風車が回る風景が目の前にある、いいな～。ひと息ついて眺める景色は、視界を遮る邪魔な建物もなく、ケバケバしい看板もなく、都会の喧騒もなく、遙か彼方の地平線の先まで独り占めしたような気分になれた。ここだけは、静かにゆっくりと時が流れているようです。



街は、由緒ある荘厳な教会や著名な建物が建ち並び、中世の香りが漂う建物で埋め尽くされていますが、一歩街から外に踏み出すと、のどかな景色の中に風車とヒマワリ畑が広がる。これこそがスペインの原風景なのだろう。

ドン・キホーテが風車をめがけて駆けていった時代にも、ヒマワリは咲き乱れていたであろうか？あの遙か彼方の山裾まで、満開のヒマワリで黄色一色に染まる頃、またこの地を訪れてみよう。



工場見学会に参加して



株式会社中野積算

小林 美穂

建物におけるシェルターは、人々の生活空間を創り、より良い住環境を生み出します。また、モノづくりとは、洗練された知識・技術の集約であり、求める人々へと成果が発揮されてこそその楽しみであると考えます。

今回、日本建築積算協会関西支部の計らいで、シャッター製造工程等を見学させて頂くことができました。

重機を使った製作現場は圧巻でした。製作過程を拝見したのは初めてであり、どのマテリアルがどのパーツになるのか全く想像もつきません。一枚の鋼板がパーツ化されて行く様を目にしたときは童心に返ったように気持ちが昂りました。

とある住戸玄関扉の検品作業を見学させて頂いたときに、一工場での製作だけが現場ではなく、たくさんの関わり合いの中で一つのモノづくりが行われており、私達もモノづくりに携わる一人であるということを改めて実感しました。こうして生まれた製品が使う全ての人に満足頂けたら、と思うと明日からの活力になると思えた瞬間でした。

製品を生み出す技術者の姿を見て、偏に製品を手にした後の消費者満足だけでなく、製品を生み出す技術者としての満足を目で感じる事が出来ました。私達が普段目にする“結果”に感嘆し、享受していただけでしたが、その“結果”までに起こる過程という物語を拝見するという体験は、とても貴重で充実した一日でした。



平成28年9月9日
文化シャッター(株) 姫路工場・御着工場見学会

私の夢



株式会社エステム建築事務所

池田 沙弥

私は「積算を極めたい」と思っています。積算を極めるといっても、具体的にどの程度までできるようになりたいというような、はっきりとしたイメージがあるわけではありません。ただ、ひとつの事を極めたいという思いがあります。

私は今までに小学校・中学校・高校で、部活動や様々な習い事を経験してきました。長いものでは9年間続けることができ、周りからは頑張ったねと褒められることもありましたが、自分の中で「これは極めた」と胸を張って言えるものは何もありませんでした。それは「これを極めたい」と心底思えるものに巡り合えていなかったからだと思います。

しかし、社会人として働き始め、初めて極めたいと思えるものに出会えました。それが積算でした。

私の会社では半年に一度、大阪・東京・浜松から全社員が集まって行われる会議があります。直近では昨年の10月に開かれたのですが、その時には「会社の将来を考える」というテーマでグループワークが催されました。そこでは、先輩方が会社の将来をどのように考え、またどうしていきたいと思われているかを知ることができ、自分にとっても大きな刺激となりました。

覚えることも多く大変な面もありますが、できることも徐々に増えつつあり、やりがいのある充実した毎日を送っています。でもそれは、先輩方が会社や仲間を大切に想いながら、居心地のよい雰囲気の職場をつくり上げてくださったからこそなのだと、会議を通じて改めて感じました。



先日の全社会議の様子

積算を極めることは、他の積算事務所や積算の部署があるゼネコンや設計事務所でも実現が可能なものかもしれませんが、違う会社で積算を極めたとしても、それは私が思い描くものではなく、夢が実現したことにはならないのです。今働かせて頂いているエステム建築事務所で、尊敬できる先輩方から様々なことを学び「積算を極めたい」それが私の夢です。

第69回積友会ゴルフコンペ報告

第69回幹事 藤田 貴司
佐田元敏和

第69回積友会開催の朝、台風18号の余波を気にしながら大会会場「ワールドカントリーゴルフクラブ」に車を走らせました。心配したとおり道中の運転は雨をくぐっての往路でした。しかし、倶楽部に着いてしばらくすると雨が止み、辺り一面が霧に包まれてきたのです。もちろん大阪平野を望むことも出来ません。

更に時が進み、いざ大会開始。ティーグラウンドに立った時、辺り一面を覆っていた霧が動き出し、金剛山の頂上から大阪平野に向かって、まさに墨絵ぼかしの装いを見せてくれました。前日までの夏の残暑も消え、涼やかな秋の風が吹き渡り、そして絶好のゴルフ日和の中に第69回積友会が開催されました。

第69回積友会の舞台は、大阪平野を一望する金剛山の懷に、雄大なロケーションを我が物にしながら、全長7077ヤードにおよぶ、戦略的で変化に富んだコースが配置されている「ワールドカントリーGC」が選ばれて競技が行われました。その結果、優勝カップは重松様の手に。その他の各賞は次の方々が獲得されましたこと報告致します。

第69回積友会成績

優 勝	重松 大輔 様
準 優 勝	佐田元敏和 様
第 3 位	徳原 永安 様
B B 賞	北野 正美 様
ベストG賞	佐田元敏和 様
ドラコン賞	佐田元敏和 様
	(OUT : IN)
ニアピン賞	玉田 大陸 様
	(OUT : IN)



左：優勝 重松 大輔氏／右：宮川支部長



スタート前 参加者の皆さま

次回第70回大会は、今春4月初旬に開催の予定です。会員の皆様のご参加をお待ちしています。

次回幹事 重松 大輔氏／北野 正美氏

賛助会員名簿

平成28年12月現在

会 社 名	住 所	電話番号
(株) 後 工 務 店	和歌山県西牟婁郡上富田町生馬567-1	0739-47-0257
(株) エービーケーエスエス	大阪市東淀川区東中島1-19-4 新大阪NLCビル3F	06-6321-8510
(株) カ ル テ ッ ク	大阪市中央区北浜1-5-5 大阪平和ビル	06-6222-3200
協 栄 産 業 (株)	大阪市福島区福島3-14-24 阪神ダイヤビルディング8F	06-6451-9781
(株) 熊 谷 組 関 西 支 店	大阪市西区靱本町1-11-7 信濃橋三井ビルディング5F	06-6225-2226
小 松 ウ オ ー ル 工 業 (株)	和歌山市岩橋字宮ノ段997-1	073-473-7811
サ ン ス チ ー ル (株)	大阪市北区天満3-12-17	06-6881-5552
三 和 タ ジ マ (株) 大 阪 支 店	大阪市阿倍野区阿倍野筋1-1-43 あべのハルカス27F	06-6657-6116
セ ン ト ラ ル 硝 子 販 売 (株)	堺市堺区築港南町6番地	072-224-8470
(株) 太 陽 建 設	東大阪市若江西新町1-4-35	06-6724-2701
太 陽 工 業 (株)	大阪市淀川区木川東4-8-4	06-6306-3033
(株) 竹 延	大阪市都島区都島北通1-2-12	06-6921-2692
(株) テ イ エ ム 技 建	東大阪市吉原2-9-17	072-961-0111
東 洋 シ ャ ッ タ ー (株)	大阪市淀川区田川北3-2-4	06-6300-3081
T O M O デ ー タ サ ー ビ ス (株)	大阪市北区天神橋7-5-23 渋谷ビル	06-6351-8452
(株) 日 積 サ ー ベ イ	大阪市中央区谷町3-1-9 MG大手前ビル	06-6944-2755
(株) ニ ュ ー ジ ェ ッ ク	大阪市北区本庄東2-3-20	06-6374-4901
(株) ハ ウ ス フ リ ー ダ ム	松原市阿保4-1-34	072-336-0503
(株) バ ル ・ シ ス テ ム	大阪市中央区谷町3-1-9 MG大手前ビル	06-6946-0622
ヒ ロ セ (株) 大 阪 本 店	大阪市中央区平野町2-6-6 ヒロセ平野町ビル	06-6203-8100
フ ジ モ リ 産 業 (株)	大阪市中央区道修町4-4-10 KDX 小林道修町ビル4F	06-6228-3880
文 化 シ ャ ッ タ ー (株)	大阪市中央区南船場2-11-26 大阪BXビル	06-6244-1540
淀 銅 商 事 (株)	大阪市中央区南本町4-1-1 ヨドコウビル5階	06-6241-7231
Y K K A P (株)	和歌山市出島31-5	073-474-1134

— 事務局だより —

新年明けましておめでとうございます。

関西支部会員、賛助会員、並びに関係諸官庁の皆様には、お健やかに新年をお迎えになられた事と存じます。

今年は、平成29年度関西支部役員改選の年度にあたります。支部ニュース75号の9ページに平成29年度役員改選/関西支部役員立候補届けが公示されていますので、ご確認ください。

平成29年4月21日(金)の関西支部定時総会において役員改選(案)の審議を経て29・30年度役員が選任されますことのお知らせいたします。

平成29年正月、支部報第75号に記述の「事務局だより」が私の最後の原稿となりました。2007年より10年間、一人体制で事務局運営を行ってまいりましたが、昨年4月から二人体制の一年が過ぎようとしています。今年4月から再び一人体制に戻ります。後任は昨年の支部報夏号の事務局だよりを書いた「塩谷正憲氏」に引き継いでいただくことになっていますので、皆様にはよろしくお願い申し上げます。

毎年、その年の世相を一文字で表す漢字が京都・清水のひのき舞台で発表されています。2016年を表す漢字は？「偽」と言いたいところですがこの文字は10年前、2007年を表す漢字として使われております。それではと思ひ浮かんだのは「騙」の一文字です。いかがでしょうか？2016年を表す一文字漢字が発表された後に、この支部報75号が皆様の手元に届きます。はなはだ不愉快な文字ではありますがこれが現実と選んでみました。「事務局だより」をお読みいただきお調べ下さい。

今年一年が良い年でありますように、そして本年もまた、どうかよろしくご指導くださいますようお願い申し上げます。

(事務局/玉田大陸)

— 編集後記 —

新年明けましておめでとうございます。

会員の皆様におかれましてはつつがなく新しい年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

さて、積算業界も高齢化が進み、技術の伝承が急務になってきています。

若い技術者は積算ソフトはすぐにおぼえて戦力になっていきますが、やはり手拾いの職人技は是非とも受け継いでいってほしいものです。

昨年来、BIMを活用した積算において活発な動きが見られるようになりました。

私自身はまだ先のことと高をくくっていましたが、積算ソフトとの連携においてにわかに現実味を帯びてきました。

私も含めて手拾い世代から見るとまさに隔世の感があります。

積算協会としてもこのような技術革新に敏感に対応して、若い積算技術者が興味を抱くような取り組みを行って、積算業界全体の若返りと発展に寄与していきたいと思いますので、今後ともご支援ご協力を賜りますよう、どうかよろしくお願いいたします。

支部ニュース No.75

編集：広報委員会(地域委員会)

更谷・島田・井関・大坪・佐田元・富山・

松本・山田倫・渡辺信

(更谷・上田・山田正・後藤)

発行所：公益社団法人 日本建築積算協会 関西支部

〒542-0083 大阪市中央区東心斎橋1-3-10

TEL 06-6253-1523 FAX 06-6253-1524

印刷：中和印刷紙器株式会社

写真表紙「京都・美山の冬」

写真：西田 清 [日本写真家協会(JPS)]

— 事務局一覧表 —

(本部)	〒105-0014 東京都港区芝3-16-12	サンライズ三田ビル3階	TEL.03-3453-9591 FAX.03-3453-9597
(北海道支部)	〒060-0062 札幌市中央区南2条西6-14	大友ビル2階	TEL.011-206-9383 FAX.011-206-9385
(東北支部)	〒980-0021 仙台市青葉区中央2丁目2-10	仙都会館ビル7階	TEL.022-225-6517 FAX.022-225-8833
(関東支部)	〒105-0014 東京都港区芝3-16-12	サンライズ三田ビル3階	TEL.03-3453-9594 FAX.03-3452-4811
(東海北陸支部)	〒460-0008 名古屋市中区栄4-3-26	昭和ビル2階	TEL.052-264-0661 FAX.052-264-0662
(関西支部)	〒542-0083 大阪市中央区東心斎橋1-3-10	長堀堂ビル3階	TEL.06-6253-1523 FAX.06-6253-1524
(和歌山支所)	〒640-8341 和歌山市黒田87-12	河南産業ビル3階南号室	TEL.073-474-7963 FAX.0739-26-3747
(中国四国支部)	〒730-0013 広島市中区八丁堀3-12	砂原ビル3階	TEL.082-221-9759 FAX.082-221-9794
(九州支部)	〒812-0013 福岡市博多区博多駅東2-9-5	池松ビル5階	TEL.092-451-0859 FAX.092-475-1448

GRAPHISOFT ARCHICAD 20

Fresh look at BIM – BIMを新たな目でー

ドラフターからCADへ、2Dから3Dへ、そしてBIMへ。
設計に関わるツールは、使い手の声とITの進化により変貌を遂げています。
ARCHICADは建築／建設業界のワークフローを革新的に変える、
業界をリードするBIMソフトウェアとして
設計者、エンジニア、施工会社等で幅広く使用されています。

ハンズオンセミナー（操作体験会）定期開催中！

BIMの世界を覗いてみませんか？

講師の案内により「ARCHICADで出来ること」をご体験頂けます。

【予約専用サイト】 <https://eipo.jp/abkss/>

Len Iya Centre, New Zealand | Patterson Associates Architects | pattersons.com | Photo © Patrick Reynolds

<開発元>

GRAPHISOFT®

A NEMETSCHEK COMPANY

OPEN BIM™

<販売代理店>

ABKSS
SYSTEM SOLUTION COMPANY
株式会社エービーケーエスエス

株式会社エービーケーエスエス

HP) <http://abkss.jp/> mail) bimlife@abkss.jp

建設コストアプリケーションの協栄産業



あなたの業務にあったアプリケーションをご提案します！

建築 積算 RC数量積算システム BIM対応

FKS RC

伏図データから3次元へ自動展開
複雑な建物形状にも柔軟に対応



3Dモード

- 3Dモードにより建具や増打、部位の高低差を視覚的に確認し、修正も行えます
- セットバックやデッキ、壁式構造にも対応、鉄筋の定尺集計も可能
- 根切図を自動で作成し、土工・地業数量を算出、杭工事に対応

建築 積算 仕上数量積算システム BIM対応

FKS FN

PDFの図面から部屋形状を作成
長さ・面積・箇所を簡単計測



PDF積算

- 部屋で拾った材料は部位別（一次集計）、科目別（二次集計）に自動集計
- 設計変更に対応している為、変更後の数量差分もすぐに印刷可能
- 新築はもちろん、改修工事や概算にも利用できます

建築 見積 見積書作成システム

KYOEI COMPASS Second Stage

単価自動値入や下見積（業者見積比較）機能を搭載！
Excel感覚ですぐに使えます

- 数量、単価の割掛け機能や、見積金額の総額を固定した逆シミュレーション機能で、コスト調整を容易に実現
- 複数棟の見積書も一括値入機能で早く、ミス無く対応できます
- Excelデータの入出力機能も充実

設備 見積 設備見積書作成システム

K-ESCORT Second Stage

総合建設業様向けに新たに開発！
建設会社の視点に立った便利な機能を搭載！

- 各種資材分類別に数量・金額によるシミュレーションが行えます
- 単価や材料マスタは、支店毎／世代毎に管理され、複数保持が可能
- 工費／継手・付属品類／消耗品類などの設備一式物を、計算処理によって自動発生

設備 積算 機械設備、電気設備対応

設備積算システム みつもんくん PRO-SecondStage

PDF図面に最適なエンジンを搭載！
拾出し作業がサクサク・軽快！



- ファイル容量の大きなPDF図面でも高速表示
画面に何枚も同時表示可能で効率アップ
- 流体と管種を結び付け、流体指定で材料が決まる
土工事は埋設施工を選んで、掘削深さを入れるだけの簡単操作

公共工事 積算 建築、機械設備、電気設備対応

公共営繕工事専用積算システム みつもんくん ie

公共工事の入札における予定価格の
事後公表の対応はお済みですか？！



- 公示用設計書（PDF、Excel等）の取り込み機能で
工事内訳書を別紙明細まで一気に変換！
- 各入札エリアに合わせた複合単価を作成する機能を搭載
ボタン1つで資材へ自動値入が可能

現場検査 建築、機械設備、電気設備対応

タブレット端末を利用した現場検査ツール

タブレット端末に取り込まれた図面を基に
現場の検査業務を支援します！



- 現場での仕上、鉄筋、設備等の検査業務に利用可能
- 重い図面を持ち運ぶ必要なし
紙の検査用紙記入と同じような感覚で、タブレットに入力が可能
- 現場での検査後、各協力会社別に振り分けていた帳票が、
管理用パソコンで簡単印刷（PDF出力）

積算といえば協栄産業におまかせください！
<http://www.kyoei.co.jp/fks>



積算 FKS 検索

「積算 FKS」で検索してください

クリック！



協栄産業株式会社 関西 ICT 事業部 関西営業課

Email fks@kyoei.co.jp URL <http://www.kyoei.co.jp/fks>

【東京】〒143-6565 東京都大田区平和島 6-1-1 TRC アネックスビル
TEL 03-3767-2312 FAX 03-3767-2318

【大阪】〒553-0003 大阪府大阪市福島区福島 3-14-24 阪神ダイヤビルディング
TEL 06-6451-9781 FAX 06-6451-9810